

秋葉まつりの舞台裏…

1月30日 別府小学校で秋葉まつりの「合同ならし」が行われ、鳥毛ひねりや太刀踊り、鳴り物の練習を行いました。

今年初めて太刀踊りに参加した男の子は5人。「前からやりたいと思よかった」「お父さんにやってみんかって言われた」ときっかけは様々。秋葉まつりについて「練習は難しい。本番は緊張すると思うけど、頑張ります」と大きな声で答えてくれました。



古い真剣を使って、本番さながらの練習



写真左から西森文哉君、片岡君、西森龍斗君、大石君

今年初めて太刀踊りに参加したのは西森文哉君（長者小2年）、片岡彩翔君（長者小2年）、西森龍斗君（別府小1年）、大石創太君（別府小1年）、掛水友凱君（別府小1年）の5人です。

大崎保育所防火パレード



「火遊びは絶対しません」と、きちんと誓えた園児たち。おうちでも「火の用心」を守ってね。

町内にインフルエンザが流行していたこともあり、残念ながら恒例の「おもちつき」は行われませんでした。それでも園児たちは元気いっぱい。拍子木や太鼓を鳴らしながら、大きな声で「火の用心」を呼びかけ、中央公民館までの往復を練り歩きました。

2月4日 大崎保育所幼年消火クラブの「防火パレード」が、保護者や消防関係者らも参加して行われました。

みんなで守ろう「火の用心」

焼畑で採れたソバで収穫祭

2月6日 昨年9月、用居の植林跡地（約20畝）に「焼畑による山おこしの会」（奥田英雄代表）と愛媛大学農学部のサークル「焼畑の会」の学生らが火入れ・種まきをし、焼畑農耕で育てたソバで収穫祭が行われました。

当日は両会のメンバーら14人が集まり、ソバの実を石臼でひくなどすべて手作業で蕎麦粉を作りました。

学生らも、地域の方に教わりながら楽しんで作業をし、最後は育てたソバで手打ち体験。試行錯誤の末に完成させた少し太麺に仕上がった手打ちそばを、達成感とともに味わいました。

「焼畑の会」の亀岡慎平部長（愛媛大学2回生）は「無事にできてよかった」と安堵の表情

で感謝の意を述べました。収穫祭では、長年農業に携わってきた地域住民と、農業関係の仕事に興味があるという学生との間で話も弾み、和やかな雰囲気での交流を深めました。

「焼畑による山おこしの会」では今秋にも焼畑を予定しています。



指導を受けて「手打ち体験」

目指せ3連覇!全日本中学生ソフトボール大会

高知県代表に本町から3人 決戦の地福岡へ

来る3月27日(土)から第6回都道府県対抗全日本中学生ソフトボール大会(男子)が福岡県福岡市(雁の巣レクリエーションセンター)で開催されます。本町からは石本真一郎君、片岡宜久君(ともに吾川中学校1年)、農本竜平君(仁淀中学校2年)の3人が高知県代表に選ばれ、同大会に出場します。

昨年2年連続2回目の優勝を果たした「高知県選抜チーム」は、3連覇を目指し3月27日「群馬選抜」と初戦を戦います。皆さん応援よろしくお願ひします。

①「信じられなかった」
②「3連覇に貢献できるような頑張る」



石本真一郎君(投手)
①「嬉しかった」
②「色々あるけど一番は3連覇、優勝すること」



農本竜平君(捕手)
①「嬉しかった」
②「まずは試合に出て、優勝に貢献したい」

①選抜チームに選ばれた感想 ②大会に向けての意気込み

吾川中・松井成一顧問より

「町の代表として誇りを持って出場してほしい。本人たちが好きなソフトなので、結果が出れば」

仁淀中・片岡貢顧問より

「毎日一生懸命練習している。全国へ行って頑張ってきてほしい」

環境への思い育む「木工教室」

2月4日 池川小学校で井上光夫氏(によど自然素材等活用研究会代表・用居在住)を講師に迎え「木工教室」が行われました。

この教室は、地域住民とのふれ合いや町の自然環境の素晴らしさを再認識することを目的に、同校の三・四年生を対象に行われました。

当日は井上氏からの説明を受けた後、同氏の用意してくれた木の枝と、児童らが事前に拾い集めたドングリや松かさなどを使って作品を製作しました。

児童らは若林一明氏(下土居)に作製していただいた「船」「動物」「ロボット」などの見本数点を参考に、生き生きとした表情で熱心に取り組みました。

枝のサイズや曲がった部分等をうまく使ったり、素材の特徴を生かして「ここはこうしよう」「これはこの部分に使いそう」と豊かな

自然素材でおもちゃ作り

発想で工夫をこらしていました。今回使われた木の枝は、廃棄物の再利用を考え、仁淀川町の自然環境の素晴らしさを知る上でも貴重な体験になったようです。終了後児童からは、大満足の表情で「本当に楽しかった」「仁淀川町の自然を大切にしようと思っただ」との感想が聞かれました。



竹村祐人君作「黒船」。精巧にできています



表情は真剣そのもの。うまくできるかな？

「鬼は外！」

2月3日 節分のこの日、町内の保育所（保育園）で節分行事が行われました。

「鬼がくる〜」と数時間前から半べそをかいていた園児たち。金棒を振り回して近づくと鬼から「恐い〜、こっちは来なく〜」と泣いて逃げ回る園児や、中には「僕負けんで〜」と勇気を

を出して鬼に豆を投げつける男の子もいました。

自分たちで作った鬼のお面をかぶって「ふくは〜うち、おには〜」と。何とか鬼を退治した後は、自分の年の数だけ豆を食べました。

自分たちで作った鬼のお面をかぶって「ふくは〜うち、おには〜」と。何とか鬼を退治した後は、自分の年の数だけ豆を食べました。



ふたば保育所



大崎保育所



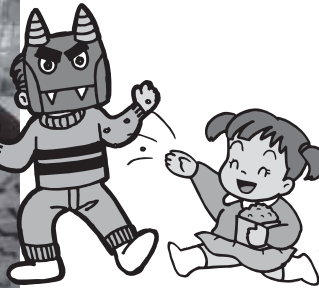
長者保育所



名野川保育所



池川保育園



2000部限定！仁淀川町オリジナル切手 発売開始記念の贈呈式

2月2日 仁淀川町役場でオリジナルフレーム切手「自然とともに輝くまち 仁淀川町」販売開始記念の贈呈式が行われ、販売元の郵便局（株）四国支社・保井成之支社長から大石弘秋町長に記念パネルが贈られました。

これに対し町長は「町外の方にも仁淀川町の素晴らしさを知ってもらいたい機会ができ、誠に嬉しく思います」と謝辞を述べました。

この切手には秋葉まつりや安居溪谷など、町が誇る文化や景観地がデザインされており、贈

呈式当日から高知県中部地域の郵便局（簡易郵便局は除く）で限定販売されています。（17頁に関連記事）



保井成之支社長（左）と大石弘秋町長

「寄付のお礼」

◇一般寄付金

山下 正様（高知市）
ご芳志をありがとうございました。活用させていただきます。

◇広報寄付金

青木 幸雄様（上土居第 三）
ご芳志をありがとうございました。受け、広報発行に活用させていただきます。

仁淀川町役場
ありがとうございました。

◇社会福祉協議会

井上 玉子様（用居）
片岡 剛様（引地）
ご芳志をありがとうございました。受け、社会福祉事業に役立たせていただきます。ありがとうございます。

仁淀川町社会福祉協議会